

# 第4回浅草地区まちづくりビジョン策定委員会 参考資料1

---

浅草地区に関連する計画等

2024年2月7日  
台東区都市づくり部

# 1-1. 各計画等における浅草地区との主な関連内容

## ■まちづくり

### 都市づくりのグランドデザイン 東京都 H29年度

- 浅草エリアは、「**芸術・文化・観光の拠点の形成**」と「**交通結節機能の強化や歩行者空間の整備**」が進み、商業、業務、公共・公益施設等が高度に集積するとともに、文化・観光施設との連携により交流が生まれる拠点として示されている。また、「**駅と船着場との交通結節機能の強化**」により、隅田川の水辺空間と浅草寺周辺のにぎわい空間が結びつき交流が活発になると示されている。

### 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 東京都 R2年度

- 浅草寺周辺の歴史・伝統を感じさせる街並みや、隅田川などの地域資源を生かしながら新たなにぎわいを生み出す、**国際的な観光の拠点を形成**。
- 回遊できる歩行者ネットワークの充実や、駅と船着場との交通結節機能の強化により、**浅草寺周辺と隅田川の水辺空間とのにぎわい空間が結び付き、交流を活発化**。
- 3駅を相互に結ぶ、利便性の高い交通動線整備及びバリアフリー化により、**交通結節機能を強化し、活気とにぎわいのある都市空間を形成**。
- 建築物の不燃化、耐震化やコミュニティの強化により防災性の向上が図られた、**街並みや地域の雰囲気を生かしたにぎわいのある都市空間を形成**。

### 台東区都市計画マスタープラン 台東区 H30年度

- 浅草駅周辺は、「浅草広域総合拠点」「浅草寺周辺」「吾妻橋周辺」に位置付けられ、「伝統・文化や隅田川の水辺空間を活かし、賑わいの連続性の確保による国際観光拠点の形成」と「みどりの拠点と舟運を活かした親水空間の形成」を目指している。
- 浅草・中部地域は、「歴史・文化を育み新たな賑わいを創造するまち」を将来像に掲げ、賑わいのある商業空間や、歴史文化にふれ、賑わいが広がる歩行者ネットワークの形成、**観光・商業・居住等の多様な機能が共生するまち**を目指している。

## 1-1. 各計画等における浅草地区との主な関連内容

### ■文化・観光・産業

#### PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン 東京都 R3年度

- 浅草を含む外国人旅行者が多く訪れる10 地域では、これまで広域的な観光案内機能を担う拠点の整備や区・観光関連団体及び民間事業者と連携した「観光案内窓口」の設置、観光ボランティアの育成による「街なか観光案内」を展開してきたが、今後もあらゆる旅行者が快適に滞在できる受入環境整備に取り組んでいくことが示されている。

#### 台東区観光振興計画 台東区 H27年度

- より多くの観光客や区民が満足できるように、事業の成果や効果を検討しながら、イベントの魅力を磨き上げるとともに、道路空間の活用を検討するなど、まちのにぎわいの創出を図る。
- 隅田川の一層の活用を図るため、船着場の利用拡大など、舟運の活性化に向けた取組みを推進する、やすらぎ、うるおい、にぎわい創出の視点での隅田公園づくり、規制緩和を利用した隅田公園オープンカフェの展開などの取組により、水辺空間の魅力向上を図る。
- 豊富な景観資源や古くからの街並みを守りながら、特性を活かした良好な都市景観を形成する。
- 観光案内機能の強化や交通利便性の向上により、観光客の回遊性の向上を図る。

#### 台東区の観光復活に向けた方針 台東区 R3年度

- 台東区立浅草文化観光センター、東京都や民間設置を含めた区内の観光案内所が連携し、観光案内機能の強化を図ることとしている。

#### 台東区産業振興推進方針 台東区 R3年度

- 資金繰り対策や経営相談をはじめとした支援策を、コロナの感染状況に応じて、効果的に展開するとともに、新販路開拓や売上確保、新たな分野での起業などの取組みに対して果敢に支援していく。

# 1-1. 各計画等における浅草地区との主な関連内容

## ■水辺

### 隅田川等における新たな水辺整備のあり方 新たな水辺整備のあり方検討会 H25年度

- 『浅草』『両国』『佃・越中島』『築地』をにぎわい誘導エリアとし、重点的な施策展開を実施する。
  - 『浅草』：浅草寺や東京スカイツリー等を含めた大規模な観光拠点とし、上野⇄浅草⇄東京スカイツリーをつなぐ役割を担う。
- 浅草エリアは、「浅草・東京スカイツリーを結ぶ にぎわいの水辺」をコンセプトとして、以下の取組み方策を展開する
  - 方策1：浅草寺・東京スカイツリー間をつなぐ動線の形成・回遊性向上
  - 方策2：浅草界隈のにぎわいの水辺への拡大
  - 方策3：舟運や水辺利用の活性化・多様化

### 隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会 R5年度

- 隅田川等における新たな水辺整備のあり方のコンセプトを引き継ぎ、以下の取組連携を推進する。
  - 隅田公園と水辺空間の一体的な整備、活用（スーパー堤防整備、オープンカフェ・隅田公園再整備との連携）
  - テラスの動線強化の拡充（源森川水門、吾妻橋）
  - オープンカフェ、かわてらす®の誘致
  - 防災船着場のイベント等での活用促進

### 舟運活性化に向けた取組総括 東京都 R4年度

- 羽田～臨海部～都心を結ぶ新たな航路の軸の創設に向けて、羽田～浅草縦断ルート等の航路の可能性を検証した。
- 舟運活性化の取組みとして、情報発信等による認知度向上、異なる業種との連携等による魅力の向上、船着場のDX等の利便性向上の取組みを展開している。

## 1-1. 各計画等における浅草地区との主な関連内容

### ■防災

#### 東京都地域防災計画 東京都防災会議 R5年度

- 浅草駅は、震災時の緊急車両の通行や緊急物資の輸送を円滑に行うための緊急輸送ネットワークの拠点に指定されている。
- 江戸通りは、特定緊急輸送道路として緊急輸送ネットワークに位置付けられており、沿道建築物への耐震化助成が行われている。
- 隅田川等の主要河川については、大地震の安全性、地域環境の向上を図るため順次スーパー堤防や緩傾斜型堤防に改築していくこととしている。

#### 東京都豪雨対策基本方針 東京都 R5年度

- 浸水被害の防止を図るため、浅草駅は重点地区とされており、下水道幹線や貯留施設等の整備を推進するとされている。

#### 台東区地域防災計画 台東区 R3年度

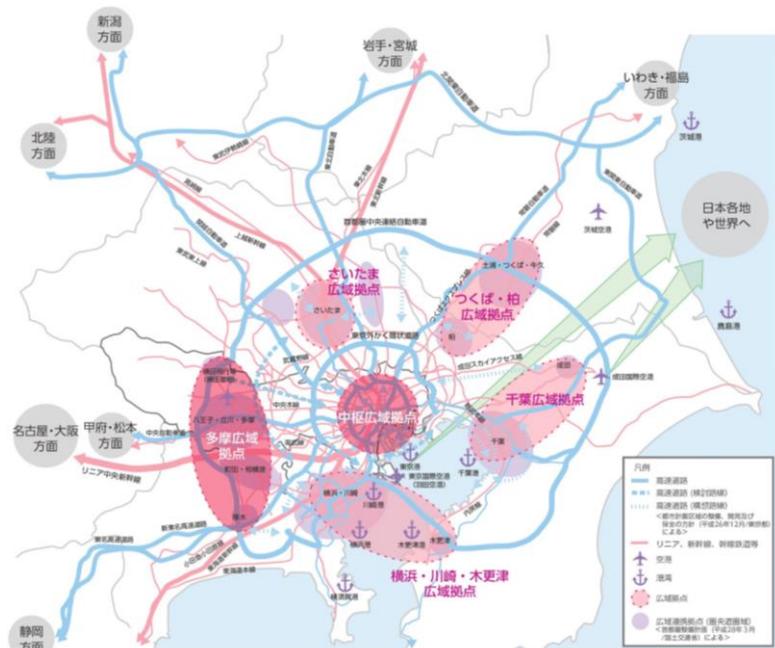
- 浅草北部地域で実施している不燃化促進事業を進めていくことが示されている。
- 浅草等の観光地においては、観光客や買い物客等の不特定多数の帰宅困難者を受入れるための施設（避難所や一時集合場所以外）の確保が課題であるとされている。

# 1-2. まちづくりに関する計画等

## 都市づくりのグランドデザイン 東京都 H29年度

### 計画概要

- 圏域の活力を更に高めながら、多様化するライフスタイルなどに応えることが期待されており、東京圏全体で国内外の人・モノ・情報の自由自在な移動と交流を確保し、イノベーションの源泉となる「挑戦の場」の創出につなげていく「交流・連携・挑戦の都市構造」の実現を目指すとしている。



「交流・連携・挑戦の都市構造」

### 本地区関連の位置付け

- 浅草エリアは、中枢広域拠点域に位置付けられている。「芸術・文化・観光の拠点の形成」と「交通結節機能の強化や歩行者空間の整備」が進み、商業、業務、公共・公益施設等が高度に集積するとともに、文化・観光施設との連携により交流が生まれる拠点として示されている。また、「駅と船着場との交通結節機能の強化」により、隅田川の水辺空間と浅草寺周辺のにぎわい空間が結びつき交流が活発になると示されている。

## 1-2. まちづくりに関する計画等

### 東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 東京都 R2年度

#### 計画概要

- 都市計画法に基づき都道府県が広域的見地から都市計画の基本的な方針を定めるもので、「成長」と「成熟」が両立した未来の東京を実現するために次の8つの戦略が設定されている。

- |                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| ①持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成   | ②人・モノ・情報の自由自在な交流を実現     |
| ③災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築    | ④あらゆる人々の暮らしの場の提供        |
| ⑤利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出 | ⑥四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築 |
| ⑦芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出    | ⑧デジタル技術を生かした都市づくりの推進    |

#### 本地区関連の位置付け

- 浅草寺周辺の歴史・伝統を感じさせる街並みや、隅田川などの地域資源を生かしながら新たなにぎわいを生み出す、国際的な観光の拠点を形成。
- 回遊できる歩行者ネットワークの充実や、駅と船着場との交通結節機能の強化により、浅草寺周辺と隅田川の水辺空間とのにぎわい空間が結び付き、交流を活発化。
- 3駅を相互に結ぶ、利便性の高い交通動線整備及びバリアフリー化により、交通結節機能を強化し、活気とにぎわいのある都市空間を形成。
- 建築物の不燃化、耐震化やコミュニティの強化により防災性の向上が図られた、街並みや地域の雰囲気を生かしたにぎわいのある都市空間を形成。

# 1-2. まちづくりに関する計画等

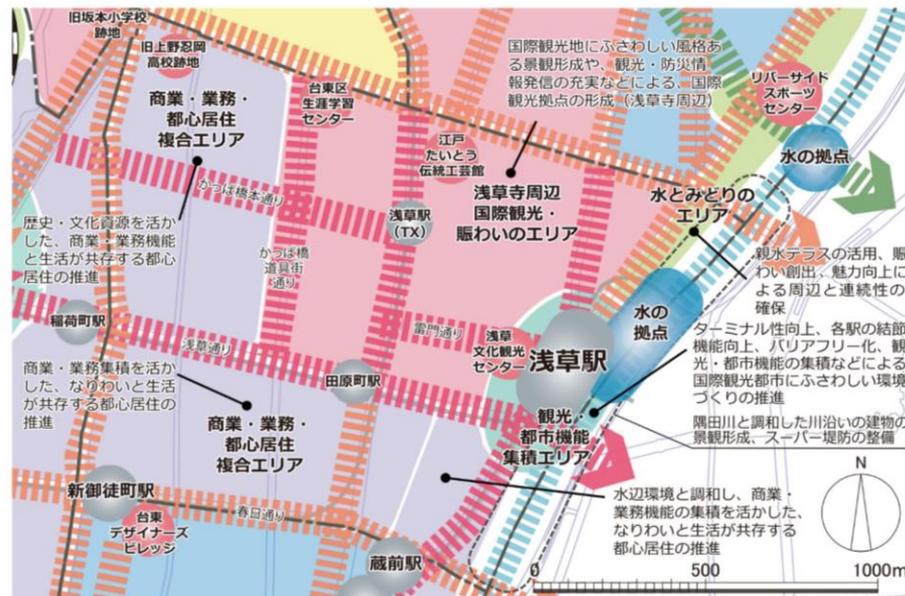
## 台東区都市計画マスタープラン 台東区 平成30年度

### 計画概要

- まちづくりの将来像・基本目標として「世界に輝く ひとまち たいとう」を掲げている。

### 本地区関連の位置付け

- 浅草駅周辺は、「浅草広域総合拠点」「浅草寺周辺」「吾妻橋周辺」に位置付けられ、「伝統・文化や隅田川の水辺空間を活かし、賑わいの連続性の確保による国際観光拠点の形成」と「みどりの拠点と舟運を活かした親水空間の形成」を目指している。
- 浅草・中部地域は、「歴史・文化を育み新たな賑わいを創造するまち」を将来像に掲げ、賑わいのある商業空間や、歴史文化にふれ、賑わいが広がる歩行者ネットワークの形成、**観光・商業・居住等の多様な機能が共生するまち**を目指している。



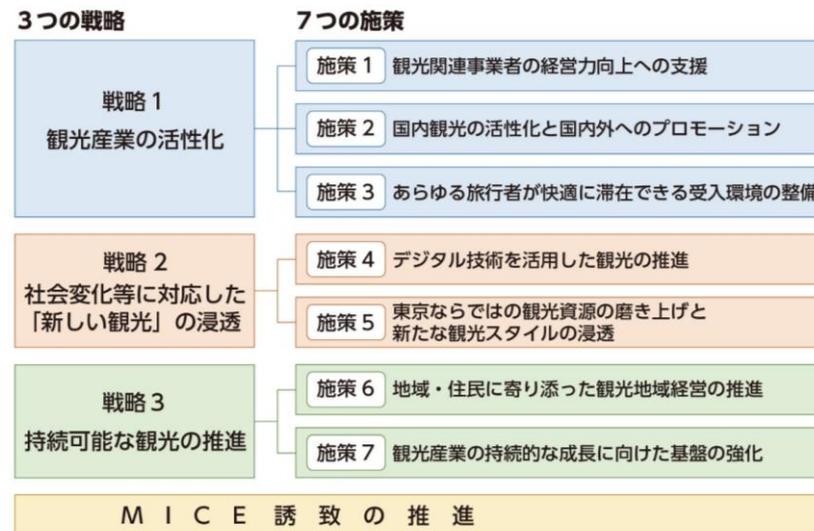
浅草・中部地域まちづくり方針図

# 1-3. 文化・観光・産業に関する計画等

## PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン 東京都 R3年度

### 計画概要

- 新型コロナウイルスを契機とした社会変化等に対応しながら観光産業を振興するため、『観光産業の復活と「サステナブル・リカバリー」の実現』を基本理念とし、3つの戦略と7つの施策を位置付けている。



基本理念の実現に向けた戦略と施策

### 本地区関連の位置付け

- 浅草を含む外国人旅行者が多く訪れる10 地域では、これまで広域的な観光案内機能を担う拠点の整備や区・観光関連団体及び民間事業者と連携した「観光案内窓口」の設置、観光ボランティアの育成による「街なか観光案内」を展開してきたが、今後もあらゆる旅行者が快適に滞在できる受入環境整備に取り組んでいくことが示されている。

# 1-3. 文化・観光・産業に関する計画等

## 台東区観光振興計画 台東区 H27年度

### 計画概要

- 多くの方に台東区の本物の文化に触れていただくことを目指し、台東区観光の目標とする姿を「本物に会えるまち」としている。また、観光資源や区民の生活環境、生活文化等を保全し、区民生活を向上させ、将来世代にも継承していく「観光の持続的発展」を観光振興の理念としている。
- 目標を実現するための基本方針として、次の5つが掲げられている。
  - ①台東区が有する多面的な魅力要素に光を当てる
  - ②区民の生活向上を意識した観光の基盤を実現する
  - ③地域に対する愛着や誇りといった意識の向上を図る
  - ④多様な来訪者に対して台東区の魅力を的確にアピールする
  - ⑤地域が一体となって観光に取り組む

### 本地区関連の位置付け

- より多くの観光客や区民が満足できるように、事業の成果や効果を検討しながら、「イベントの魅力」を磨き上げるとともに、「道路空間の活用を検討するなど、まちのにぎわいの創出」を図る。
- 隅田川の一層の活用を図るため、船着場の利用拡大など、舟運の活性化に向けた取組みを推進する、やすらぎ、うるおい、にぎわい創出の視点での隅田公園づくり、規制緩和を利用した隅田公園オープンカフェの展開などの取組により、「水辺空間の魅力向上」を図る。
- 豊富な「景観資源や古くからの街並み」を守りながら、特性を活かした良好な都市景観を形成する。
- 観光案内機能の強化や交通利便性の向上により、「観光客の回遊性の向上」を図る。

# 1-3. 文化・観光・産業に関する計画等

## 台東区の観光復活に向けた方針 台東区 R3年度

### 計画概要

- コロナ禍の状況において、これまでの観光振興計画を見直し台東区の観光を復活させるため真に必要な施策を戦略的に体系化したもので、次の基本方針を掲げている。
  - ①区内観光事業者の「稼ぐ力」を高める
  - ②区民の生活向上を意識した観光基盤づくり
  - ③誘客の分散化と量の観光から質の観光への転換
- 目標とする観光統計指標として、令和5年度に年間観光客数、年間観光消費額、年間宿泊観光客数を平成30年度の数値程度までへの回復を目指している。

### 本地区関連の位置付け

- 台東区立浅草文化観光センター、東京都や民間設置を含めた区内の観光案内所が連携し、観光案内機能の強化を図ることとしている。

# 1-3. 文化・観光・産業に関する計画等

## 台東区産業振興推進方針 台東区 R3年度

### 計画概要

- コロナ禍の状況において、感染症の拡大状況に応じたレベルを想定し、当該レベルに応じた、施策展開の方針を整備することで、柔軟に、スピード感をもって区内中小企業支援を推進することを目的とする。
- 産業振興施策の展開のため、次の基本方針を掲げている。
  - ①コロナ禍の影響を最小限に抑える
  - ②企業価値を向上させる取組みを促進する
  - ③新たな賑わいのスパイラルを創る

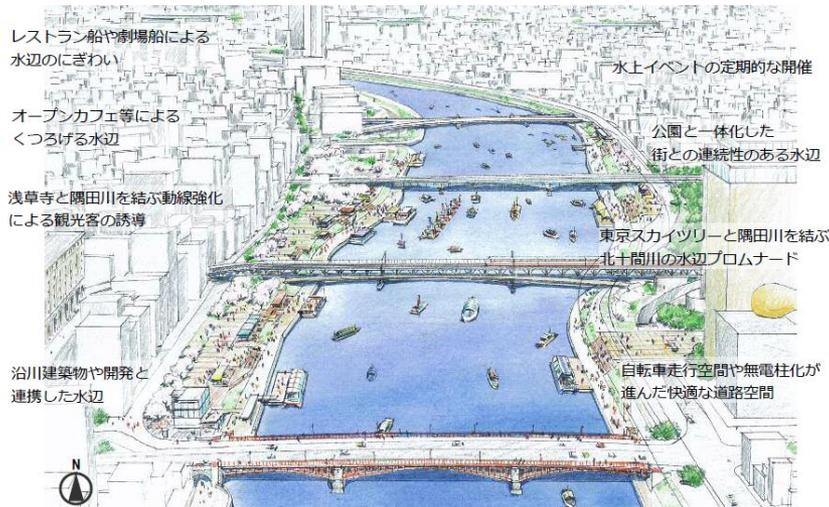
### 本地区関連の位置付け

- 資金繰り対策や経営相談をはじめとした支援策を、コロナの感染状況に応じて、効果的に展開するとともに、**新販路開拓や売上確保、新たな分野での起業などの取組みに対して果敢に支援**していく。

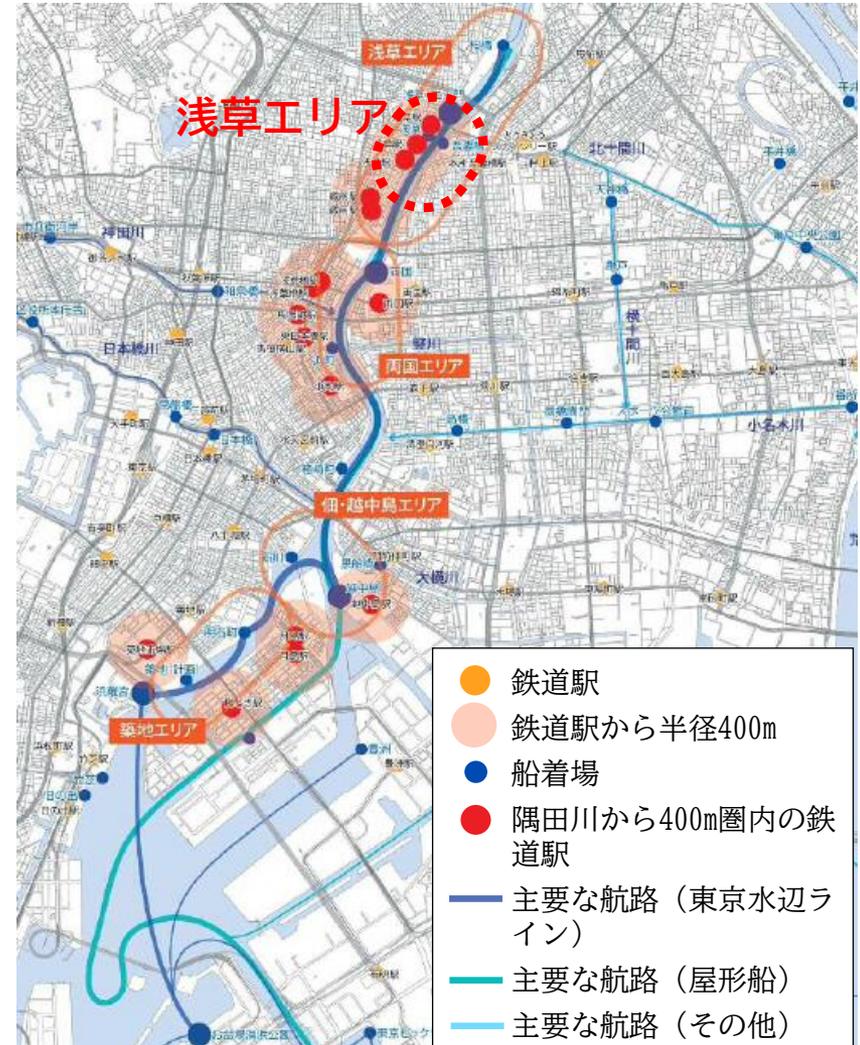
# 1-4. 水辺に関する計画等

## 隅田川等における新たな水辺整備のあり方 新たな水辺整備のあり方検討会 H25年度

- 『浅草』『両国』『佃・越中島』『築地』をにぎわい誘導エリアとし、重点的な施策展開を実施する。
  - 『浅草』：浅草寺や東京スカイツリー等を含めた大規模な観光拠点とし、上野⇄浅草⇄東京スカイツリーをつなぐ役割を担う。
- 浅草エリアは、「浅草・東京スカイツリーを結ぶにぎわいの水辺」をコンセプトとして、以下の取組み方策を展開する
  - 方策1：浅草寺・東京スカイツリー間をつなぐ動線の形成・回遊性向上
  - 方策2：浅草界隈のにぎわいの水辺への拡大
  - 方策3：舟運や水辺利用の活性化・多様化



隅田川における浅草エリアの施策展開イメージ

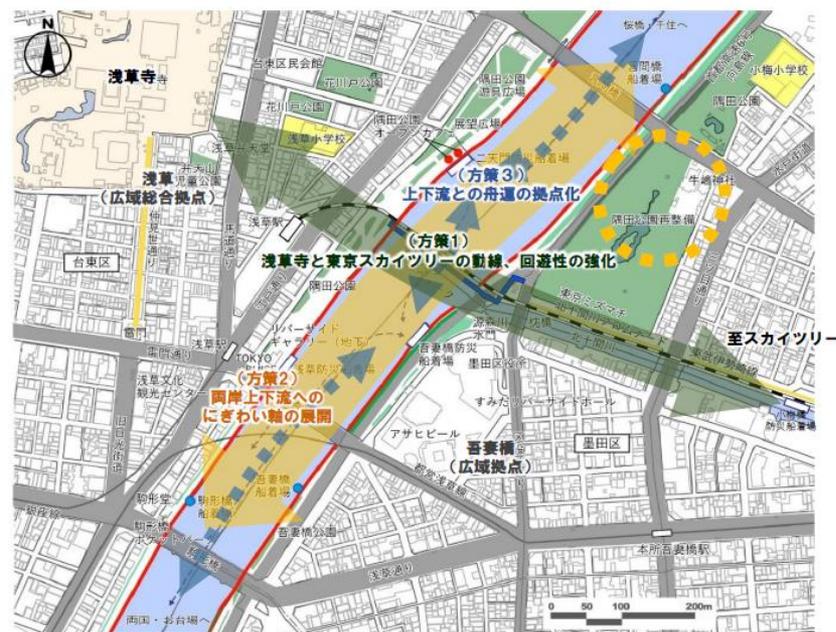


隅田川の水陸交通結節に関するポテンシャル

# 1-4. 水辺に関する計画等

## 隅田川等における未来に向けた水辺整備のあり方 未来の東京に向けた水辺整備のあり方検討会 R5年度

- 隅田川等における新たな水辺整備のあり方のコンセプトを引き継ぎ、以下の取組連携を推進する。
  - 隅田公園と水辺空間の一体的な整備、活用（スーパー堤防整備、オープンカフェ・隅田公園再整備との連携）
  - テラスの動線強化の拡充（源森川水門、吾妻橋）
  - オープンカフェ、かわてらす®の誘致
  - 防災船着場のイベント等での活用促進



まちづくりと連携した舟運拠点



沿川公園との一体整備・活用

凡例	
<span style="color: green;">■</span>	公園・緑地
<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	防災船着場
<span style="color: green;">—</span>	スーパー堤防
<span style="color: red;">—</span>	隅田川テラス(通行可能)

浅草エリアの取組イメージ

図面は、国土交通省の委託（国土交通省委託）に基づき作成されたものであり、著作権は国土交通省にあります。複製を禁じます。



# 1-5. 防災に関する計画等

## 東京都地域防災計画 東京都防災会議 R5年度

### 計画概要

- 今後の取組の方向性として、次の視点を掲げている。
  - ①家庭や地域における防災・減災対策の推進
  - ②都民の生命と我が国の首都機能を守る応急体制の強化
  - ③すべての被災者の安全で質の高い生活環境と早期の日常生活の回復
- さらに、ハード対策、多様な視点に配慮、防災DXの推進、人口構造については、分野横断的な視点に基づき防災対策の具体化を図るとしている。

### 本地区関連の位置付け

- 浅草駅は、震災時の緊急車両の通行や緊急物資の輸送を円滑に行うための緊急輸送ネットワークの拠点に指定されている。
- 江戸通りは、特定緊急輸送道路として緊急輸送ネットワークに位置付けられており、沿道建築物への耐震化助成が行われている。
- 隅田川等の主要河川については、大地震の安全性、地域環境の向上を図るため順次スーパー堤防や緩傾斜型堤防に改築していくこととしている。

# 1-5. 防災に関する計画等

## 東京都豪雨対策基本方針 東京都 R5年度

### 計画概要

- 2040年代に目指す東京の姿として、「気候変動により激甚化・頻発化する豪雨に対して安心・安全なまち」の実現を目指すとしており、地域特性に応じて5つの施策（河川整備、下水道整備、流域対策、家づくり・まちづくり対策、避難方策）を組み合わせ、重点的な対策強化と段階的な事業展開により事業効果の早期発現に努めていくことを掲げている。



### 本地区関連の位置付け

- 浸水被害の防止を図るため、浅草駅は重点地区とされており、**下水道幹線や貯留施設等の整備を推進**するとされている。

# 1-5. 防災に関する計画等

## 台東区地域防災計画 台東区 R3年度

### 計画概要

- 首都直下地震等の大規模地震や風水害による浸水被害等を想定し、災害に強い台東区の実現を図るために策定する計画で、区及び防災機関が行うべき防災対策等を記載している。
- 東京湾北部地震が発生した場合の被害想定では、区内全体の死者は最大約500人、11万人を超える帰宅困難者が発生するとされている。
- 減災のため、防災都市づくりの一層の推進、地域防災力のさらなる向上、帰宅困難者の安全確保、生活再建の早期化等の目標が掲げられている。

### 本地区の位置付け

- 浅草北部地域で実施している**不燃化促進事業**を進めていくことが示されている。
- 浅草等の観光地においては、**観光客や買い物客等の不特定多数の帰宅困難者を受入れるための施設（避難所や一時集合場所以外）の確保が課題**であるとされている。